

おめでとう、100歳の長寿を祝福

高齢者を訪問

将来の災害に備えて！ 総合防災訓練

今年度中に100歳を迎える高齢者宅を中田勝久市長が



▲中田市長から感謝状を受け取り、「ありがたいです。長生きしてよかった」と笑みを見せる上田さん

9月2日に訪問し、祝い状と記念品の羽毛布団を贈り長寿を祝いました。

市内で年度内に100歳になる高齢者は13人(男性3人、女性10人)で、この日、中田市長が訪れたのは、訪問を希望した上田たか彦さん(倭文長田)ら3人。上田さん宅ではたか彦さんが、同居している孫やひ孫と一緒に迎えてくれました。

たか彦さんは、30代で夫を亡くし、1人で4人の子どもを育てられました。現在は、ひ孫

サンライズ淡路第2グラウンドを芝生化

子どもから大人までが、世代を越えたスポーツによる交流を図れ、より親しまれる施設を目指し、昨年12月から進めてきたサンライズ淡路第2グラウンドの整備がこのほど完成し、9月16日に竣工式を行いました。

この事業では、約7000㎡のグラウンドを芝生化し、夜間照明設備6基や音響システム、サッカーゴールなどを設置。スポーツ振興くじ助成金を受けて、総事業費5433万円で整備しました。



▲記念行事のグラウンドゴルフ大会

式典後には、夜間照明のもと、竣工記念行事として老人クラブ連合会によるグラウンドゴルフ大会が行われました。

米の標語、優秀作品決まる

14人、やしゃ孫4人にも恵まれており、「耳が聞こえにくく、足も弱くなった。でも、気が向けば、散歩もします。食べ物に好き嫌いはありません」と毎日を過ごされています。

中田市長は、「ご家族の気持ちなが長生きにつながっているのではないかと思います。一年一年大変ですが、頑張ってください」とお伝えしました。

また同日、101歳以上の高齢者へは、市幹部職員が希望者10人を訪問し、長寿を祝いました。

米の消費拡大を図ろうと、「地産地消・ゆめるん子育て元気米支援協議会」が米をテーマにした標語を市内の小中学生から募集しました。9月2日には、優秀作品を選考し、次の方々が入賞しました。(敬称略)

市長賞 済藤綾城(辰美小)「よくかんで ごはん食べる 元気な子」、議長賞 丸田穂乃花(八木小)「米食べて パワー全開 あわじっ子」、JAW賞 組合長賞 塩浜拓実(榎列小)

近い将来発生するおそれのある東南海・南海地震を想定した総合防災訓練が9月5日、市内全域で行われ、約9300人が参加しました。

メイン会場の広田中学校では、広田地区住民が、消防団による初期消火訓練やなでしこ分団による救命講習、震災・学校支援



▲災害対応自動販売機(コカコーラ・ウエスト)を体験

チーム(EARTH)による防災教育を受けました。各地区の集会所や公会堂では地域の実情に応じた訓練が実施されました。

▲放水訓練に参加する子どもたち。大きなホースをしっかりと持って、「かっこいい!!!」と大満足

ふるさと納税

ご寄附ありがとうございます。

ふるさと南あわじ応援寄附金 寄附状況の公表 (9月16日現在)

区分	件数	金額
南あわじ市内	226件	29,345,219円
市外(島内)	28件	1,716,000円
市外(島外)	122件	10,454,940円
合計	376件	41,516,159円

詳細は市のホームページに掲載しています

深刻! 市税滞納

兵庫県「税滞納整理回収チーム」と共同徴収

市税は市民に安定した行政サービスを行うための大切な財源です。しかし、再三の催告にもかかわらず、未だ納付していない人がいます。納税の公平性から見て、このような滞納者を放置することはできません。

10月12月は、「滞納整理強化期間」

県庁職員と共同で訪問等を行い、滞納者に対し、厳しい姿勢で徴収に臨みます。

誠意のない滞納者には、差押えを行います

市税や介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付が遅れている人や忘れている人は、早急に納めてください。

【滞納処分の流れ】



納付方法については、**収税課** ☎43-5034 にご相談ください。

ふれあい市長室 防災訓練、い苦労様でした

南あわじ市長 中田勝久

市民の皆様、9月5日の防災訓練、ご苦労様でした。各自治会では、避難訓練や自主防災組織としての活動などを、また、消防団や各種団体の皆様も広田中学校会場を中心に、色々な対応をしていただきました。自治会長さんや自主防災会会長さんが、市民の誘導や避難状況の把握に努めていただいている姿を拝見し、非常に心強く感じました。

津波に対する迅速な避難対策や孤立集落対策、淡路広域防災拠点の機能の検証、防災関係各機関の連携体制の強化、市民等の防災意識の高揚、各種対策及びマニュアル・計画等の検証などを重点目標として実施しております。

秋は、台風による風水害の季節です。南あわじ市では、平成16年の台風23号により大きな被害がありました。

一方、東南海・南海地震が今後30年以内に約50%の確立で発生すると言われております。東南海・南海地震の被害は兵庫県内で最も大きいと想定されており、迅速かつ的確な

情報伝達や災害時要援護者の安全な避難誘導、関係機関の緊密な連携強化が必要です。合併以来、小中学校耐震化100%やケーブルテレビ整備による屋内外災害告知システムの確立、防災監視カメラの設置、沼島ヘリポートの建設など積極的に進めてまいりました。また、低地対策として三原川水系河川整備計画が本格的に動き出しました。

しかし、行政、消防の活動には限界があります。「自分の命は自分で守る。家族の命は家族で守る。地域の命は地域で守る」を基本に、地域自主防災力を強化し、市民の防災意識の向上に努めなければなりません。

不十分なところは強化し、意識の低いところは相互に注意し合うことが大切です。「備えあれば憂い無し」防災は訓練の繰り返しによって身につくという意識を高く持ち、どうか市民の皆様におかれましては、大切な命や家族、地域を守るために、日々防災対策に力を注いでいただきますようお願いいたします。

みなさんのお役に立ちます

- 植木剪定 ○大工・左官仕事 ○農作業 ○除草・草刈 ○軽作業
- 施設管理 ○清掃 ○毛筆筆耕 ○家事手伝い(掃除・洗濯・食事支度) など

お気軽に電話下さい

どんな仕事でもご相談下さい

社南あわじ市シルバー人材センター

〒656-0478 南あわじ市市福永 358-1 (三原庁舎内)
TEL / 0799-42-5339 FAX / 0799-42-6044

広田事業所 TEL / 0799-45-0012
福良事業所 TEL / 0799-52-0070
西淡窓口 TEL / 0799-36-2083



広告